

レパーサ[®] 皮下注420mgオートミニドージャー 注射記録シート

医療関係者用

この注射記録シートを使用し、自己注射の指導を行う場合は、必ず「レパーサ皮下注420mgオートミニドージャー自己投与のための使い方ハンドブック」を参照しながら使用してください。

レパーサ皮下注420mgオートミニドージャー 注射記録シート

カルテID _____ 自己注射指導開始日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 患者様氏名 _____ 様 自己注射移行予定日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

■ オートミニドージャー注射にあたっての簡易操作手順 (投与方法クイックガイド参照 以下QG)

注意: 装着準備中に、誤ってスタートボタンに触れないようにする	<p>点灯なし</p> <p>45 45分以上 かける</p> <p>カートリッジ 装着後</p> <p>5 5分以内に 注射する</p> <p>青点滅</p> <p>電池絶縁テープ</p> <p>プルタブ2枚</p> <p>圧着させる</p> <p>緑点滅</p> <p>緑点灯</p> <p>カチッ</p> <p>5 約5分*</p> <p>薬液確認</p> <p>消灯</p>
1. 45分以上かけて室温に戻す (QG1)	
2. 箱から取り出し必要物品の準備/手洗いをする (QG2)	
3. 腹部もしくは大腿部で注射部位を選択し消毒する。 上腕部は医療従事者または訓練を受けた家族のみ選択可 (QG2)	
4. オートミニドージャーとカートリッジに破損などの異常がないか点検し、 本体のふたは開けたままにする (QG3)	
5. カートリッジの底部を消毒し、 オートミニドージャーの奥までしっかり押し込む (QG3,4)	
6. ふたをパチンと音がするまでしっかりと閉める (QG5)	
7. 裏面の緑のプルタブを左右2つともはがす。 電源が入る (QG6) (表示ランプ: 青の点滅)	
8. 姿勢を整え、オートミニドージャーを貼り付ける (QG7)	
9. スタートボタンをカチッと音がするまで しっかり押し込み、注射を開始する (QG8) (表示ランプ: 緑の点滅)	
10. 約5分*後、注射が完了したことを確認する (QG9) (表示ランプ: 緑の点灯)	
11. 皮膚粘着剤の端を持ってはがし、薬液確認窓を確認後、 専用廃棄袋に捨てる (QG10) (表示ランプ: 消灯)	

* 変更前品である自動注入時間約9分のオートミニドージャーもまだ流通している可能性があります。
自動注入時間約5分の場合は箱の上面に「オートミニドージャー変更品」の記載がございますので、ご確認の上ご使用ください。

詳細は裏面の「操作確認ポイント早見表」をご参照ください。

■ オートミニドージャー注射実施記録 (簡易の申し送り欄としてご活用ください)

<p>例)</p> <p>注射した部位</p> <p>右 左</p>	<p>実施日: 20XX年 X月 X日 投与開始時刻: ●時●分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左下腹部/仰臥位 ・投与後の皮膚トラブルなし ・腹部にしわやくぼみあり (座位時は注意してください) ・次回は大腿部投与の希望あり ・大腿部マーキング済み <p>[次回申し送り事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の投与部位ローテーションを 検討してください 等 <p style="text-align: right; border: 1px solid red; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: inline-block; margin-top: 5px;">印</p>	<p>注射した部位</p> <p>右 左</p>	<p>実施日: _____ 投与開始時刻: _____</p>
<p>注射した部位</p> <p>右 左</p>	<p>実施日: _____ 投与開始時刻: _____</p>	<p>注射した部位</p> <p>右 左</p>	<p>実施日: _____ 投与開始時刻: _____</p>
<p>注射した部位</p> <p>右 左</p>	<p>実施日: _____ 投与開始時刻: _____</p>	<p>注射した部位</p> <p>右 左</p>	<p>実施日: _____ 投与開始時刻: _____</p>

レパース皮下注420mgオートミニドージャー 操作確認ポイント早見表

POINT

…「レパース皮下注420mgオートミニドージャー 自己投与のための使い方ハンドブック(以降、使い方ハンドブック)」P.6「ご使用のポイント」参照

■ 保管方法・注射前の準備 →「使い方ハンドブック」P.4,6-17参照

45
45分以上
かける

1



- レパースは冷所保管／遮光剤のため箱から出さず保管し、使用前に本体／製剤ともに45分以上かけて室温に戻す必要がある。
- 本剤は1回使い切り・使い捨てのため、エラーが起きたら本体／製剤ともに再使用できない。
(エラー表示: 赤い点滅)

点灯なし

2



- 準備中、誤ってスタートボタンに触れないようにする。
(理由: スタートボタンを押すと針が露出しエラーの原因となるため)
- カートリッジの上部や底部を外したり回したりしない。
(理由: カートリッジが正しく装着できなくなりエラーの原因となるため)

5
5分以内に
注射する

3

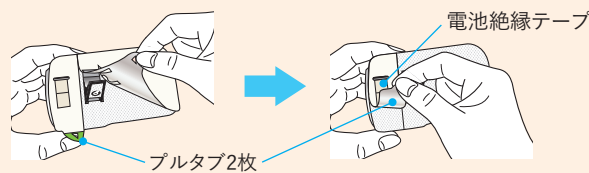


- 挿入口へカートリッジを軽く入れ、続いてカートリッジを底部から真っ直ぐに奥までしっかりと押し込む。
- カートリッジ装着後、5分以内に注射する。
(理由: 薬液が乾き注射できない可能性があるため)
- カートリッジ装着後、針先から薬液が数滴漏れることがあるが、使用に問題はない。
(理由: 内部の薬液ルートを通液するために起こる)
- ふたはパチンと音がするまでしっかりと閉める。

■ 注射方法 →「使い方ハンドブック」P.18-28,34参照

青点滅

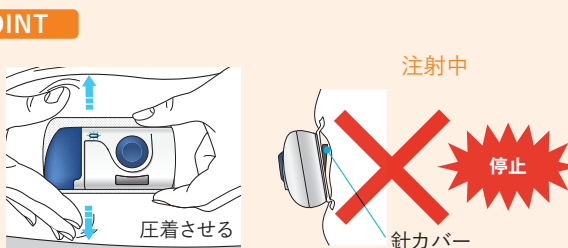
4



- 緑のプルタブを左右2つともはがす。どちらからはがしても可。電池絶縁テープが引き抜かれて通電し、電源が入る。
(表示ランプ: 青の点滅)
- はがした後は、皮膚粘着剤や針カバーに触れないように注意する。

緑点滅

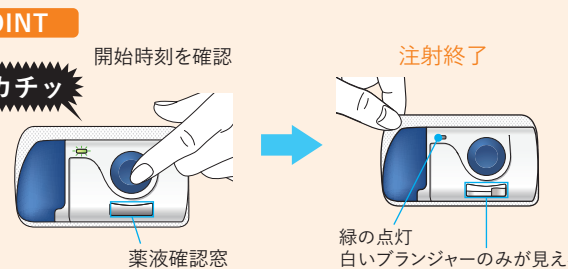
5



- 注射部位の皮膚がひだになったりふくらんだりしないよう姿勢を整え、粘着剤全体が皮膚に貼り付くようにする。
- オートミニドージャー本体を皮膚に軽く押さえるように圧着させ、続いて指で粘着剤の端をなぞって固定する。
- 注射中は投与部位に負荷がかかるような動作を避け、可能な限り安静に待機する。
(避ける動作例: 体をそらす、ねじる、屈むなど)
- 注射中に針カバーが開かないように注意する。
(理由: 針カバーが開くとエラーの原因となるため)

約5分*

6



- スタートボタンはカチッと音がするまでしっかりと押す。
(理由: しっかりと押し込むことで針が固定されるため)
- スタートボタンを押すと、皮膚への穿刺と薬液投与が開始する。
(表示ランプ: 緑の点滅)
- 注射が完了(表示ランプ: 緑の点灯)したら皮膚粘着剤を持って注意しながらはがす。同時に抜針される。
(表示ランプ: 消灯)
- 注射後、針先から薬液が数滴漏れることがあるが、使用に問題はない。
(理由: 機器内部の残液によって起こる)

* 変更前品である自動注入時間約9分のオートミニドージャーもまだ流通している可能性があります。自動注入時間約5分の場合は箱の上面に「オートミニドージャー-変更品」の記載がございますので、ご確認の上ご使用ください。

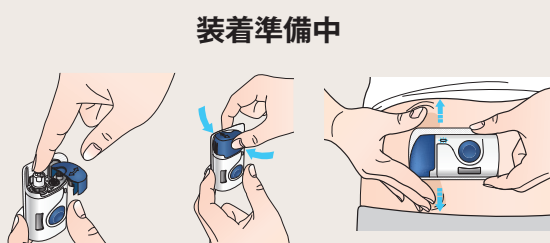
レパーサ皮下注420mgオートミニドージャー 使用時のポイント

レパーサ皮下注420mgオートミニドージャー使用時の4つのポイントです。
「レパーサ皮下注420mgオートミニドージャー 自己投与のための使い方ハンドブック」
を用いて、患者さんに使用時のポイントをご案内ください。

1 装着準備中に、誤ってスタートボタンに触れないようにする。

⚠ スタートボタンを押すと針が露出してしまうため、スタートボタンは1回しか押せません。

P.9以降

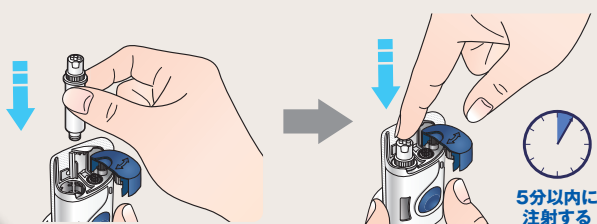


針が露出

2 カートリッジを底部から真っ直ぐに取り付け、奥までしっかりと押す。

⚠ しっかりと押し込むことで、カートリッジの底部のゴム栓に内部の針が穿刺されます。

P.15-17



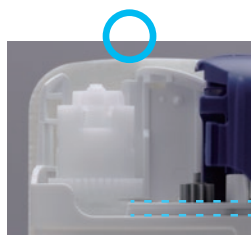
カートリッジ装着後



機器内部で薬液が流路に流れはじめるため、針先から数滴の液漏れがみられることがありますが、使用に問題はありません。

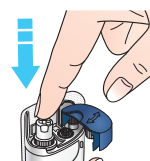


カートリッジ装着例



カートリッジが少し浮いている

ふたを閉める前に



カートリッジが浮いている場合は、奥までしっかりと押し込んでください。

3 注射中に、針カバーが開かないようにする。

! 注射中に針カバーが開かないよう注意してください。

針カバー

! **貼り付ける前の注意点**

P.21

皮膚のしわやくぼみ避ける 硬く平らな皮膚面を選ぶ

粘着テープの大きさ 約8.7cm×約5cm

! **貼り付けた後の注意点**

P.21 P.23

注射中はオートミドラーを動かさない 注射中は可能な限り安静にする

* 変更前品である自動注入時間約9分のオートミドラーもまだ流通している可能性があります。自動注入時間約5分の場合は箱の上面に「オートミドラー-変更品」の記載がございますので、ご確認の上ご使用ください。

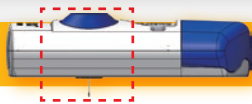
4 スタートボタンをカチッと音がするまでしっかりと押す。

P.24

カチッ

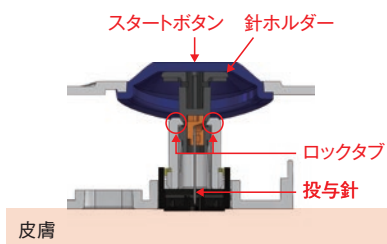
- !** 投与針は、スタートボタンを最後まで押し切ることで適切な位置に固定されます。
- !** スタートボタンを押し切るより先に、内部の光学センサーが針ホルダーの位置を感知し、機械の駆動が始まります。

断面図(横)



皮膚に取り付けた時

- ・スタートボタンは針(ホルダー)の真上に取り付けられています。



スタートボタンを押した時

- ・スタートボタンを押すと、スタートボタンに押されて針ホルダーが下がり、投与針が針カバーの穴から皮膚へ穿刺されます。
- ・機器内部で針ホルダーがロックタブに固定されるまで、スタートボタンを完全に押ししてください。

